

# 令和7年5月中旬および下旬の果樹病虫害巡回調査結果概要について

このことについて、以下のとおりです。病虫害防除指導の参考にしてください。  
なお、巡回調査結果は別添ファイルを参照してください。

## 記

### 【東北信】 巡回日 5月22、23、26日

#### 1 りんご（11ほ場）

- （1）うどんこ病の発生は、東、北信地域の各1ほ場でみられ、発病果そう率は1.7%であった。
- （2）黒星病の発生はみられなかった。
- （3）斑点落葉病の発生はみられなかった。
- （4）腐らん病の発生は、胴腐らんが東信、北信地域の各1ほ場でみられた。枝腐らんの発生は東信、北信地域の5ほ場でみられた。
- （5）キンモンホソガの寄生葉はみられなかった。
- （6）ハダニ類の寄生はみられなかった。



図1 りんごのうどんこ病り病果そう(東信)

#### 2 ぶどう（6ほ場）

- （1）うどんこ病、べと病の発生はみられなかった。
- （2）灰色かび病、黒とう病の発生はみられなかった。

#### 3 もも（6ほ場）

- （1）せん孔細菌病は、北信地域の1ほ場で発病葉がみられ、発病葉率は0.4%であった。
- （2）モモハモグリガの被害葉はみられなかった。
- （3）アブラムシ類の寄生は、東、北信地域の各1ほ場でみられた。
- （4）クビアカツヤカミキリの寄生はみられなかった。
- （5）モモヒメヨコバイの寄生はみられなかった。

#### 4 うめ（2ほ場）

- （1）かいよう病の果実への発生はみられなかった。かいよう病による枝先の枯れこみが、東信地域の1ほ場でみられた。
- （2）黒星病の発生はみられなかった。
- （3）クビアカツヤカミキリの寄生はみられなかった。
- （4）モモヒメヨコバイの寄生はみられなかった。

※5月末に降雹害を受けたほ場では、傷口から病原菌が侵入しやすいので、より丁寧な薬剤防除を心掛ける。

【中南信】 巡回日 5月中旬調査：5月15日(なし：二十世紀)  
5月下旬調査：5月21、22、23日

1 りんご (11ほ場)

- (1) うどんこ病の発生はみられなかった。
- (2) 黒星病、斑点落葉病の発生はみられなかった。
- (3) 腐らん病の発生はみられなかった。
- (4) キンモンホソガの寄生葉(果そう)はみられなかった。
- (5) ハダニ類の寄生はみられなかった。

2 なし (9ほ場)

- (1) 赤星病の発生はみられなかった。
- (2) 黒星病の発生はみられなかった(調査対象品種：幸水)。
- (3) 黒斑病の発生はみられなかった(調査対象品種：二十世紀)。
- (4) アブラムシ類の発生は、南信地域の1ほ場でみられ(ワタアブラムシ 写真2)、寄生新梢率3.3%であった。
- (5) ハダニ類の寄生はみられなかった。



図2 ワタアブラムシ(南信)

3 ぶどう (6ほ場)

- (1) うどんこ病、べと病、灰色かび病、黒とう病の発生はみられなかった。

4 もも (3ほ場)

- (1) せん孔細菌病の発病葉はみられなかった。
- (2) モモハモグリガの被害葉はみられなかった。
- (3) アブラムシ類の寄生はみられなかった。
- (4) クビアカツヤカミキリの寄生はみられなかった。
- (5) モモヒメヨコバイの寄生はみられなかった。

5 うめ (2ほ場)

- (1) かいよう病の発病枝はみられなかった。
- (2) 黒星病の発病果はみられなかった。

【侵入警戒調査(果樹)】

- (1) りんご、なしの調査ほ場において、火傷病、コドリングアの発生はみられなかった。
- (2) もも、うめの調査ほ場において、ウメ輪紋ウイルスの発生はみられなかった。